

新社会党の機関紙  
**週新社会** 水曜日発行  
 月刊新社会 月ぎめ700円

県内情報満載  
**新社会兵庫** 月2回刊  
 月刊新社会 月ぎめ400円

読んでください 新社会党兵庫県本部  
 ☎078-361-3613 fax078-361-3614

No. 1297  
 2025年  
 3月6日

発行・新社会党灘総支部  
 神戸市灘区天城通3-5-19  
 電話 078-801-6530  
 Fax 078-801-6708  
 nsp-nada@vega.ocn.ne.jp  
 http://www.nsp-nada.sakura.ne.jp/

# おはよう新社会党です

被爆者の声をつなく集い  
 3月23日(日)14時~ 兵庫県福祉センター

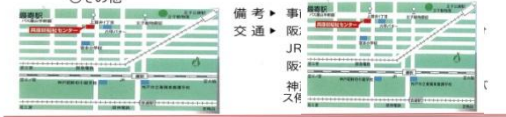


被爆80年  
 3.23(日)  
 被爆者の声をつなく集い

昨年12月に日本被爆者団体協議会がノーベル平和賞を受賞しました。被爆者の皆さんの取り組みが、世界中に伝わり、賞をいただきました。このたび、被爆80年にあたり、被爆者の声をつなく集い、次世代にもつなぐ機会を設けました。ぜひご参加ください。

と き 2025年3月23日(日)14時~16時  
 ところ 兵庫県福祉センター【下記の地図ご参照】  
 神戸市中央区坂口通2-1-1 ☎078-242-4647

内容 ○メイントーク/立川重則さん(県被爆者協議会会長)  
 (「ノーベル平和賞は新たな平和への出発点-被爆者の声-」)  
 ○高校生平和大使/未来への発信  
 ○その他



主催 憲法を生かす会・灘 後援 ろっこう医療生活協同組合  
 【連絡先】 ろっこう医療生活協同組合 本部 (☎078-802-3424)

# 高校生平和大使・兵庫主催 3.16 未来への架け橋

【高校生平和大使】

1998年、長崎市で始まった高校生による平和運動。核兵器廃絶と平和な世界の実現のためヒロシマ・ナガサキの声を世界に届けるために「高校生1万人署名」などを行っています。

2月16日、元町駅前で高校生平和大使・兵庫の5人を中心に1万人署名活動が取り组まれました。「多くの方々にご協力いただき、141筆の署名が集まり、平和への思いを共有する貴重な時間となった」と報告しています。



核兵器禁止条約締結国会議始まる

元町駅前の署名活動



原発事故被害者「相双の会」ニュースから

裁判長に申し上げたい、ふもと津島が蘇るように  
 国・東電を断罪し、復興の道を示してください②

私の住んでいた浪江町赤宇木の放射線量の色分け地図は真っ赤です。年間被ばく50ミリシーベルト、どんなに不安がお分かりいただけでしょうか。原発を進めた国と東電に怒りを感じ、なかつたことにはできない。今年(2024)1月、自宅を解体しました。住み慣れた家が朽ちていく様子を見たくありません。苦渋の決断でした。原発事故さえなければ・・・虚しさや悔しさ、心の整理ができません。住むことが許されずみんな散り散りになってしまいました。仙台高裁馬場靖子さんの陳述から



解体を見守る

平和大使はノーベル平和賞授賞式にも代表4人が参加、現地の高校生と交流を行っています。

3月16日(日) 13:30~16:00  
 カナディアンアカデミー 六アイ 東灘  
 「平和って何だろう?」平和大使が主催する未来の架け橋被爆体験者の講話・パネルディスカッションが取り组まれます。参加無料です。

3月23日(日)  
 被爆者の声をつなく集い  
 では平和大使による「未来への発信」が提案されます。こちらにも参加を。

なんでも相談ください

新社会党 灘総支部  
 078-801-6530  
 サービス残業、パワハラ、職場のトラブル  
 NPO法人 働く人の相談室  
 078-945-7703

憲法を生かす会・灘

南海トラフ周辺で予想されるM8~9の巨大地震。発生確率は「10年以内30%」「30年以内では7~8%」と言われています。それでも原発を再稼働し、新設は狂気の沙汰です。原子力村(原発業界の産・官・学の特定の関係者の村社会的集団)の利益集団が国民の声を無視して推進しています。

『おはよう新社会党です』HEADLINE

- 第1293号(2月6日、JR六甲道駅) 道路陥没、甲斐さん大深度法に異議
- 第1294号(2月13日、六甲中止) 2.18県庁前ヒューマンチェーン
- 第1295号(2月20日、王子公園駅) 兵庫県政を取り戻す人間の鎖
- 第1296号(2月27日、阪神大石駅) 原発最大限活用表明の石破に抗議

おはよう川柳  
 備蓄米と 内部留保も 放出や  
 コメの値段が2倍に。政府備蓄米の放出で価格を下げるとか。大企業の内部留保は600兆円。労働者・下請けからピンハネしたカネ。物価高・低賃金であえぐ市民に放出を。

自治体職員増員で機能を守れ

埼玉県八潮市の道路陥没事故の真因は?点検で劣化が発見できなかったのか?今、自治体での人手不足・継承不足は住民サービスの低下をもたらし、また命に関わる事故・事件を起こすことにもつながる。阪神淡路大震災の折、全国から多くの自治体職員が駆けつけた。しかし今や、職員を災害派遣すれば職場が回らなくなると悲鳴が。神戸市は能登半島地震で派遣したのは退職者だ。職員不足は深刻だ。



前市会議員 小林るみ子

# 原発事故から14年 原発事故は いのち・生活・生業を奪う

福島県「いまこそ原発事故のリアルに向き合う時」  
原子力

福島原発事故から14年、事故の終息宣言はまだ。深刻な状況が続いています。日本の全原発を止めた時もあります。世界ではイタリア・ドイツ・台湾などが脱原発に動きましたが、日本政府は原発推進を打ち出し、老朽原発が再稼働され13基が稼働しています。一番古い高浜原発は50年を超えました。関東以北では13年あまり停止していた女川原発を再稼働させました。地震予知はできないというのが専門家の認めるところですが、地震調査委員会は2023年、南海トラフ巨大地震が20年以内に発生する確率は60%程度としました。事故が起きれば、私たちの身に何が起きるのか、原発を止めた元裁判官と声を上げる避難者のお話をお聴きして迫りくる現実に向き合ひましょう。



【1部】  
「地震と原発—私が原発をとめた理由—」  
元裁判官 樋口英明さん

プロフィール  
1963年生まれ。京都大学法学部卒業。20年4月福岡地裁判事(33歳)。福井地裁の判事として2014年5月21日に大飯原発3、4号機の運転停止を命じた。15年6月14日には高浜原発3、4号機の運転停止を命じた。17年8月に定年退職。  
「私が原発をとめた理由」(実地社)「南海トラフ巨大地震でも原発は大丈夫と書くんや」(実地社)「原発のふたの扉」(西遊堂)「原発と司法」(実地社)「福島—原発をとめた裁判官として原発をとめる裁判官たち」



【2部】  
「今はわたしの事  
やがてはあなたのこと」  
福島原発事故避難者 菅野みずえさん

プロフィール  
社会福祉は福祉の権利の立場で、35年社会福祉と福祉の現場での経験で動いてきました。60代以上の高齢者、5人暮らしと高齢者に合わせてきたら避難で苦境の境になってしまいました。悔しいです。

2025  
**3月9日(日)**  
14:00~15:45  
終了後にデモを予定  
【参加費】1000円

会場  
神戸市立婦人会館  
5F「さくら」  
〒250-0202 神戸市東灘区西宮ふたば1-1-1  
〒250-0202 神戸市東灘区西宮ふたば1-1-1  
主催：脱原発兵庫ネットワーク  
問合せ先：菅野 090-9989-7129

## 民主主義と人権を取り戻す 3.22兵庫県民大会！

3月22日(土)  
14:00~15:15  
刈ケンパーク  
集会後デモ

百条委員会の調査報告書が公表されました。「パワハラはおおむね事実」と認定され、「元県民局長への処分は不当」であり「名誉を回復」するよう提言しています。

昨年11月の知事選で「斎藤・立花2馬力選挙」に維新の会所属の2県議が関与していたことも判明しました。百条委員会内部からウソの個人情報情報が漏洩され、それをもとに立花がデマを拡散し、選挙結果に多大な影響を与えました。

民主主義の根幹である選挙の公平性が大きく損なわれたのです。SNS等による誹謗中傷は、選挙後も続き、県会議員の命さえ奪われています。無法状態が続き、斎藤知事は他人事の答弁に終始し、この事態を放置しています。

この状況を変えられるのは主権者である県民です。今こそ声を上げましょう。事態を転換させ、県政の混乱に終止符を打ちましょう。 下は県庁前ヒューマンチェーン(2月18日)



非核神戸方式  
50周年記念  
非核条例を考える全国の集い

# 非核神戸方式を今こそ全国へ

日本における基地強化や特定港湾空港制度による民間港湾の軍事利用という軍事拡大の情勢の中で、自治体の非核化による軍事利用の拒否は改めて重要になっています。日本で初めて港湾の非核化を実践した「非核神戸方式」が1975年3月に始まってから50周年になります。今こそ非核神戸方式を全国に広めることが求められています。

**3月15日(土) 13:40~16:30**  
神戸市教育会館大ホール 参加費 500円

- 基調講演 非核神戸方式を振り返り、今こそ全国へ  
講師 浜 恵介さん(立教大学兼任講師)  
講師 新倉裕史さん(ヨコスカ平和船団)
- 特別報告① あわはら富夫さん(神戸市会議員)  
齊藤けい子さん(苦小牧非核条例を考える会)
- 特別報告② 山崎秀一さん(元自治労高知県職労委員長)  
藤井幸子さん(平和憲法を守る八重山連絡協議会)

### 社民党/新社会党共同ポスター 貼付にご協力ください

武器で  
平和は  
つukれない

●社民民主党 参議院議員  
**福島みずほ**

●新社会党市民運動委員長  
**かい正康**

●新社会党委員長 元衆議院議員  
**岡崎ひろみ**

社民党  
新社会党  
社民党・市民共同

■社民党・新社会党合同演説会  
日時/2025年8月30日(土) 18:00 場所/東京有楽町駅前